

2021年度放射線教材コンテスト

審査基準

審査は、以下の「基礎点」と「加点」の審査基準を用いる。加点については、各実行委員が順位付けを行った結果を集計し、総合的な順位を決めるものとする。

公平な審査を行う観点から、一次選考において、予稿に記載された【応募者】【指導教員】の欄は伏せて審査する。また、実行委員が所属する大学から応募された作品について、該当する実行委員はその作品に対して選考しない。

本コンテストは放射線教育のさらなる広がりへ寄与すべく開催するものであることを鑑みて、より多くの放射線教育関係者の参加を促す観点から、一次選考における入選水準に、同一校から3作品以上が入る結果となった場合は、上位2作品までを入選とし、3番目以降の作品を「準入選」として評価する。

1. 基礎点

(1) 教材の作成にあたって

- ・学校において実演できる内容であること
- ・実演を行うにあたり、参加者等に危険性のないこと（放射性物質の管理を含む）
- ・実演を行うにあたり、著しく費用がかかる等の大きな障害のないこと
- ・教育上不適切な表現、人によっては不快感を抱かせるような表現のないこと
- ・放射線教育普及の観点から、教育現場等での応募された教材の活用に、応募者が同意していること（活用に際しては公表される予稿を引用する。）
- ・指導教員による指導が受けられること

(2) 学校等における放射線教育の普及啓発に資する教材であるか

- ・対象と伝えたい内容が、発達段階に合わせて適切に設定できているか
- ・教職員にとって取り組みやすい内容となっているか
- ・材料が、安価かつ入手しやすいものであるか

(3) 放射線に関する正確な知識理解、普及啓発に資する教材であるか

- ・目的が明確であり、伝えたい内容が、わかりやすく表現・模擬できているか
- ・教材が表現・模擬できていない（誤解を生む可能性がある）内容を区別し、その理由を科学的に説明できているか
- ・応募教材に関係する先行研究、参考文献をひろく引用しているか
- ・福島第一原子力発電所の事故以後今もなお根強く残る風評や偏見・差別の払拭への寄与が期待されるか

2. 加点

○ “放射線エウレカ” に基づくアクティブ・ラーニング教材であるか

- ・応募者自身が放射線について学んだ過程で驚きや感動を伴い「わかった！」と実感した内容“放射線エウレカ”の焦点が明確となっているか
- ・“放射線エウレカ”をわかりやすく表現できているか
- ・“放射線エウレカ”について、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立ったアクティブ・ラーニング教材として実現できているか

以上